

# キャリア教育に活用できるデータ集

## — 1 —

### —はたらく人5000人のアンケート・集計結果—

#### ◆◆職種別集計データ◆◆

働く人は、自分の仕事をどのように捉えているか。満足度、やりがい、さらには学生時代の充実度はどうなのか。「はたらく人のやりがい・みちのりBOOK」( [やりがい・みちのりBOOK](#) ) をより有効に活用していただくために、働く人5000人に実施したアンケートの回答を職種別に集計し、その一部を掲載しました。

#### ●掲載データ

1-1. 職種別に見た仕事に対する満足度の比較

1-2. 今の自分の仕事に、中学・高校および大学で学んだことは役に立っていますか (職種別比較)

具体的には、中学・高校で学んだどんなことが役に立っていると思いますか

1-3. 大学では何を学んできましたか (職種別に見た出身学部別人数)

[参照サイトページ](#) 公式サイト [わくわくキャッチ!](#) には、出身学部別集計データも掲載しています。こちらと合わせてご活用ください。(サイト内「学校の先生へ」→「出身学部別集計データ」)

## 1-1 職種別に見た仕事に対する満足度の比較

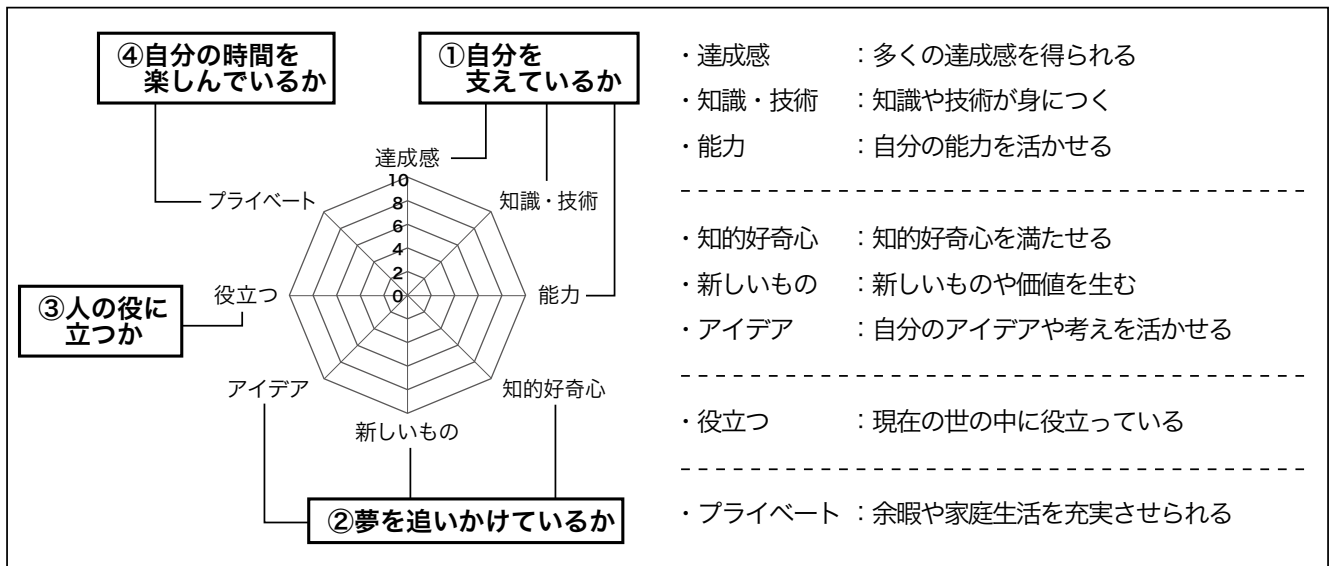
ここでは、**やりがい・みちのりBOOK** p4-5で、職種別にやりがいを紹介した「お仕事リサーチ 仕事の内容によって、やりがいはどうちがうの？」に掲載できなかった職種も含めて、全職種の満足度をあさのあつこさんと考えた3つの観点（**やりがい・みちのりBOOK** p2-3）に、「自分の時間を楽しんでいるか」を加えた4つの観点からまとめました。

参照  
サイトページ

公式サイト **わくわくキャッチ!** には、職種別に仕事内容とアンケートから集めた「やりがいの生の言葉」を掲載しました。こちらと合わせてご活用ください。

（サイト内「学校の先生へ」→「職種別データ集 仕事のやりがいて何？」）

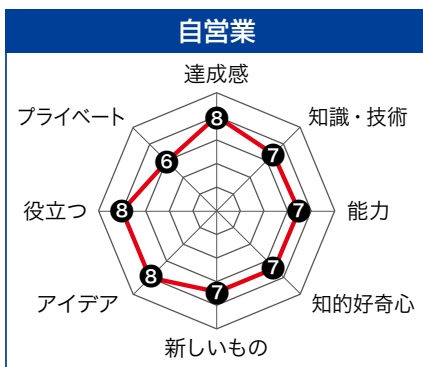
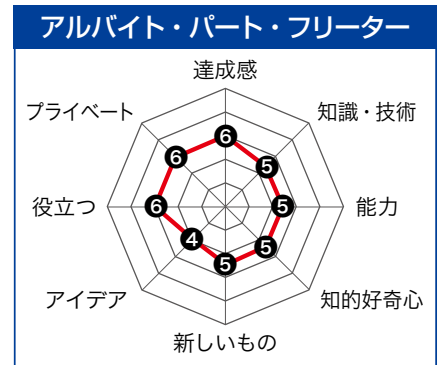
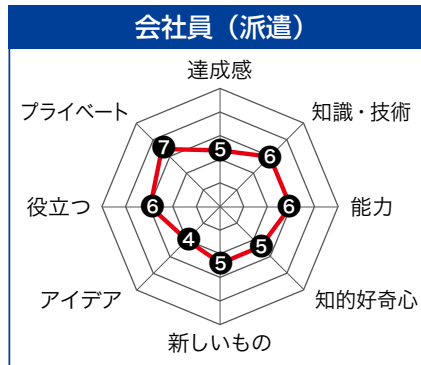
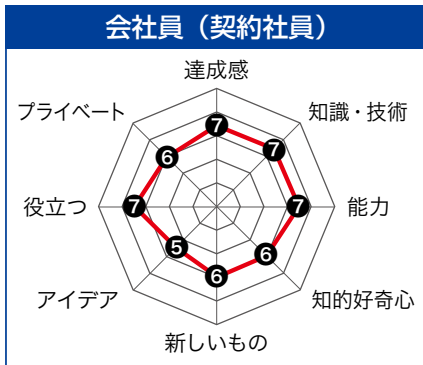
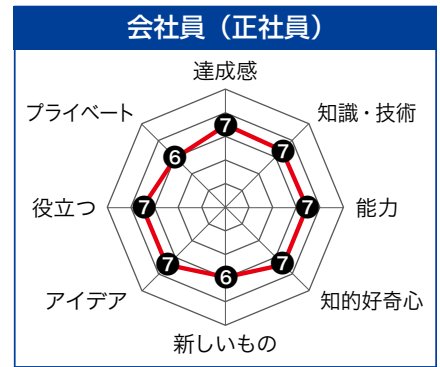
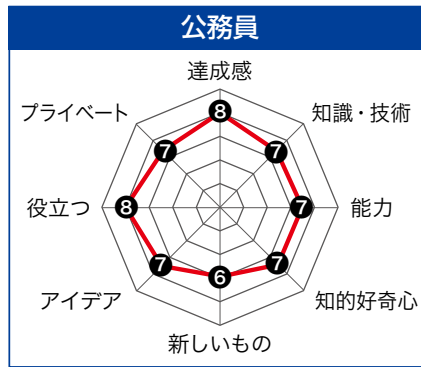
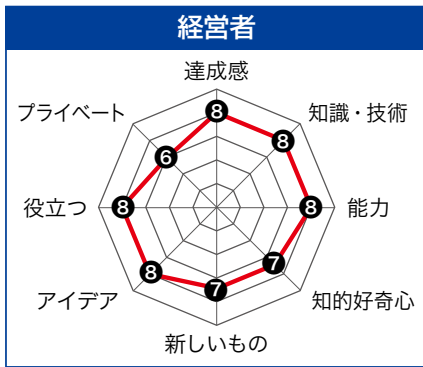
### [観点の詳細]



1~10の  
ポイントは

アンケートでは、設問（例「自分の今の仕事は、多くの達成感を得られる仕事だと思いますか」）に対して、「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4つの選択肢から選んでもらいました。「そう思う」「ややそう思う」の割合を10点満点でポイント化し、職種別および雇用のされ方別にレーダーチャートで表しました。

## ■雇用のされ方による仕事の分類

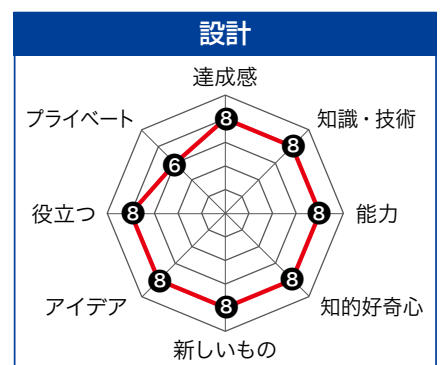
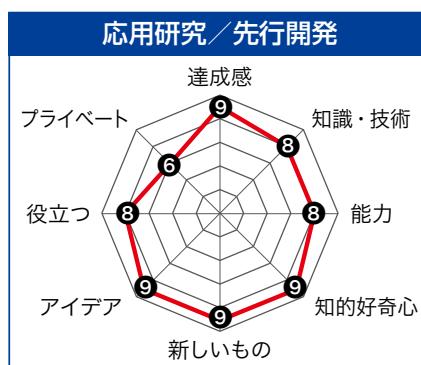
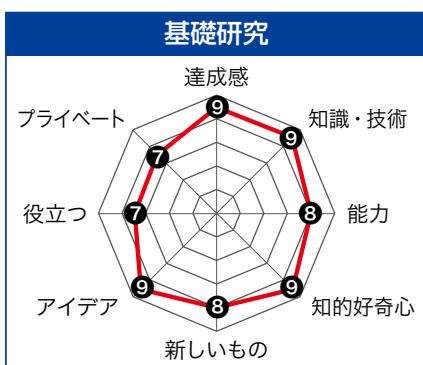


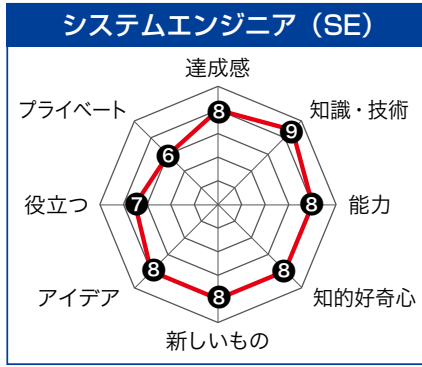
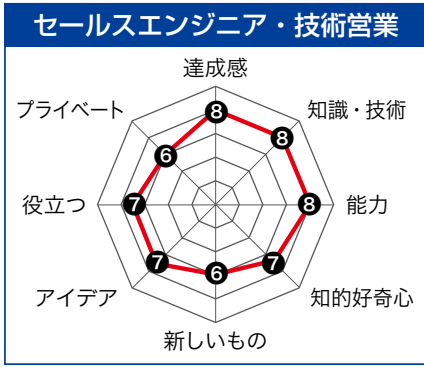
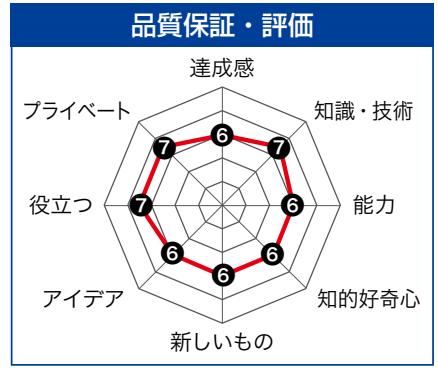
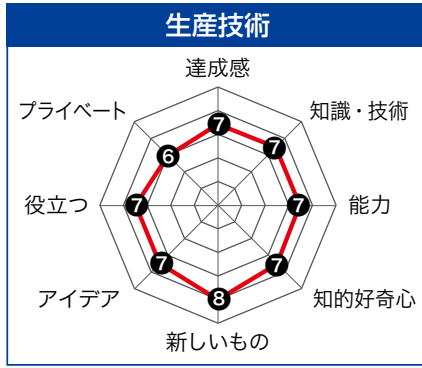
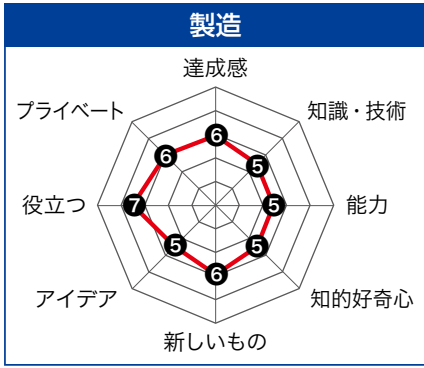
雇用のされ方で見ると、

- ・経営者、公務員、自営業は、総じてどの項目もポイントが高めで、特に「達成感」「役に立つ」が高くなっています。経営者や自営業は、「アイデア」のポイントが高く、自分のアイデアが活かせる仕事であることが伺えます。
- ・契約社員、派遣、アルバイト・パート・フリーターは、正社員と比べてほとんどの項目でポイントが低く、特に「アイデア」のポイントの低さが目立ちます。派遣は、「達成感」は低いものの、逆に「プライベート」は高くなっています。

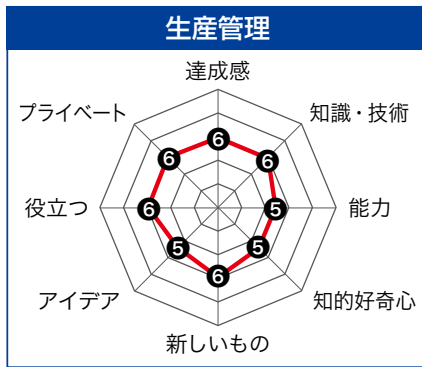
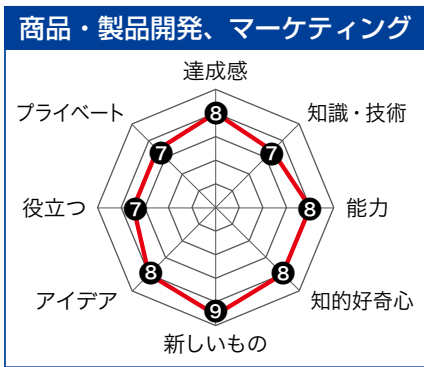
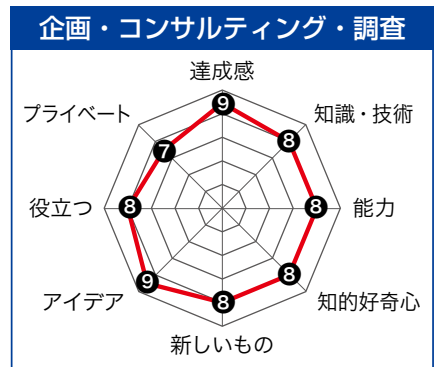
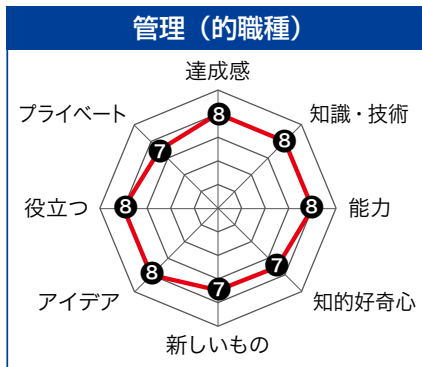
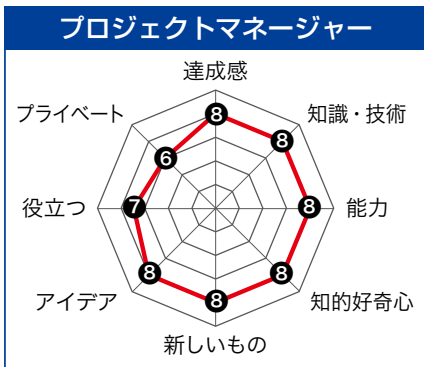
## ■業務内容（職種）による仕事の分類

【研究・開発・製造関連】

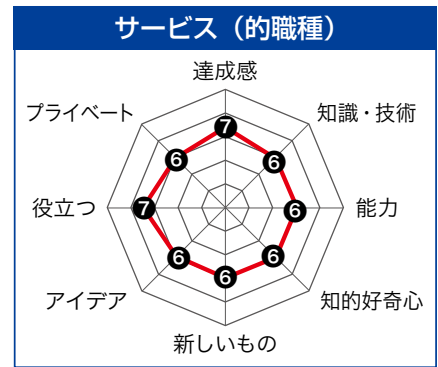
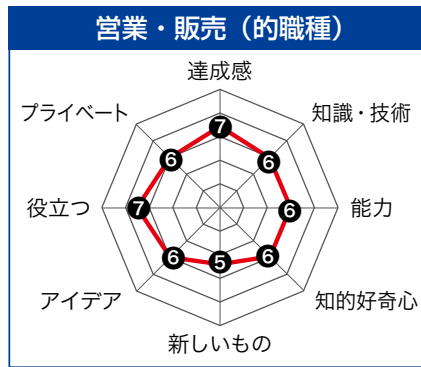
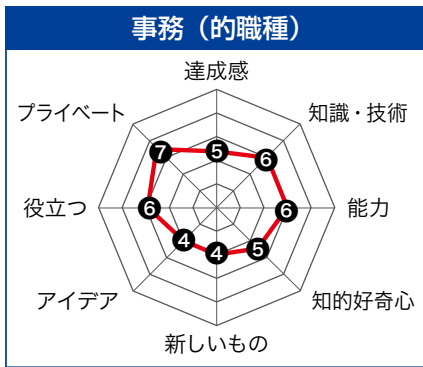




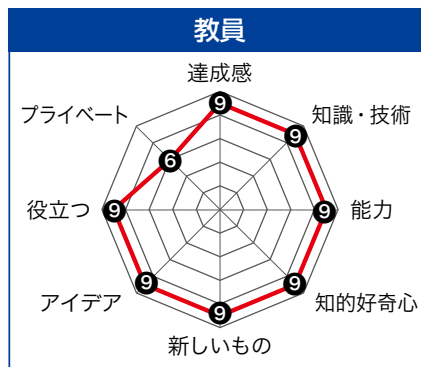
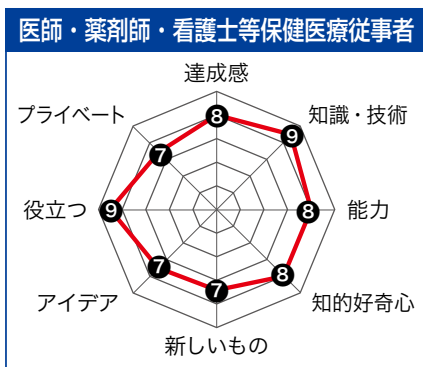
## 【マネジメント・企画関連】



【営業・事務関連】



【医療・教育】



満足度を業務内容(職種)別に見ると、

- ・【研究・開発・製造関連】と【マネジメント・企画関連】の職種は総じて満足度が高く、【営業・事務関連】の満足度は低くなっています。
- ・【研究・開発・製造関連】の職種では、「応用研究／先行開発」は、ほとんどの項目で8または9ポイントと高く、「基礎研究」がそれに次ぎます。「基礎研究」は「役に立つ」ポイントが低いことから、すぐに世の中の役に立つものを生み出すとは限らないという仕事の特性がうかがえます。その他、「設計」「システムエンジニア」も多くの項目でポイントが高くなっています。
- ・【マネジメント・企画関連】の職種では、「企画・コンサルティング・調査」「プロジェクトマネジャー」「商品・製品開発、マーケティング」が総じて高くなりました。「企画・コンサルティング・調査」では「アイデア」のポイントが、「商品・製品開発、マーケティング」では「新しいもの」のポイントが高いことが仕事の特性を表しています。
- ・「教員」は「プライベート」を除けば、すべての項目でポイントが高く、非常に満足度が高いことがわかります。
- ・「医療従事者」は、「知識・技術」「役に立つ」のポイントが高い結果となりました。これは、常に新しい医療の知識・技術が求められ、直接人の役に立っているという仕事の特性を表しています。

# ①-2 今の自分の仕事に、中学・高校および大学で学んだことは役に立っていますか（職種別比較）

中学・高校時代の学習が、自分の将来の働き方、生き方とどのように結びつくかを考えさせてみましょう。

**やりがいみちのりBOOK** p6-7「登場する人たちからの一言メッセージ」や同p8-53「仕事インタビュー」の「みちのり」「なるまでチャート」のコーナーと、ここで紹介する「今の自分の仕事に、中学・高校で学んだことは役に立っていますか」のグラフや、次頁以降の「中学・高校で学んだどんなことが役に立っていると思いますか」のコメントが活用できます。

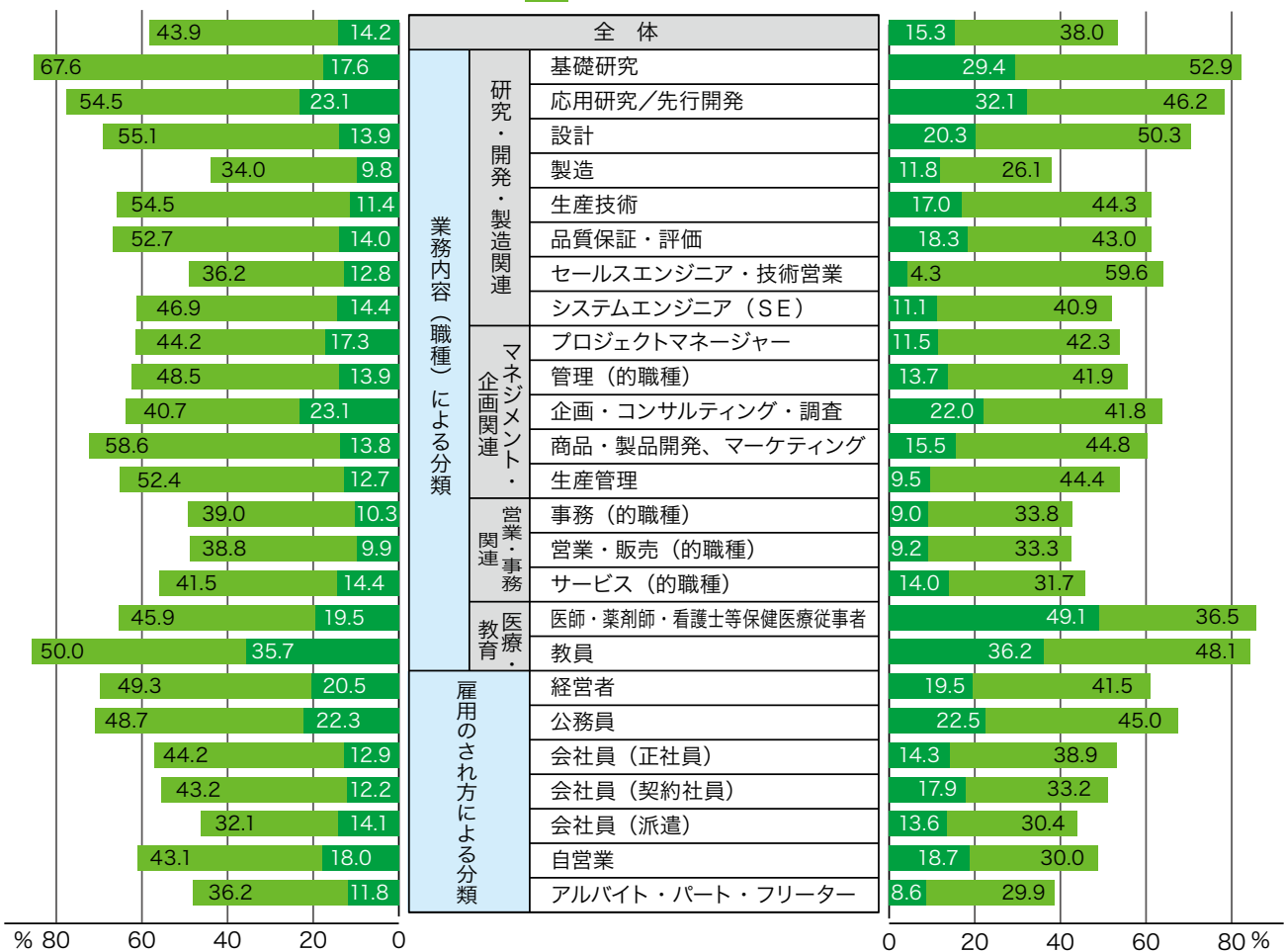
**参照** 下図右の「大学で学んだことは役に立っていますか」は、本データのp11「1-3. 大学では何を学んできましたか（職種別に見た出身学部別人数）」と合わせてご覧いただくと、各職種に至る学習過程がよりイメージできます。

**参照サイトページ** 公式サイト **わくわくキャッチ!** には、冊子・サイトを用いた「授業の展開事例」も掲載していますが、そこで紹介した「活動1『30歳までの予定表』を作る」「活動2『15年後の私』を想像してみる」の活動の際にも、下記のデータは、各職種に至る学習過程をイメージできる情報として活用することができます。（サイト内「学校の先生へ」→「冊子・サイトの授業での活用例・活用素材」）

## ①今の自分の仕事に、中学・高校で学んだことは役に立っていますか（職種別）

## ②今の自分の仕事に、大学で学んだことは役に立っていますか（職種別）

■ 「そう思う」の割合  
■ 「ややそう思う」の割合



今の自分の仕事に、「中学・高校で学んだことは役に立っていますか」という問いに対して「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合が高いのが「教員」「基礎研究」「応用研究／先行開発」「商品・製品開発、マーケティング」「公務員」「経営者」等

「大学で学んだことは役に立っていますか」という問いに対して「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合が高いのが「医療従事者」「教員」「基礎研究」等

# ■具体的には、中学・高校で学んだどんなことが役に立っていると思いますか

**参照サイトページ** 大学で学んだことについては、「出身学部別集計データ」に掲載しています。  
(公式サイト **わくわくキャッチ!** 内「学校の先生へ」→「出身学部別集計データ」)

## 1. 基礎研究

●数学、特に統計学の知識は、思ったよりも仕事に使われる。特にデータ解析を行う時に分散や標準偏差を知らないと、出てきた数字の妥当性が分からない。  
(研究機関 30歳代 男性)

●薬の研究をする際に、分野外である電気や物理や統計学などの幅広い知識を必要とすることが多々ある。そのときに、中学や高校で習っていないと、まったくの基礎から勉強しなくてはならなくなると感じる。  
(医療・福祉 30歳代 男性)

●英語は、中学・高校でやったものは基礎だけであつたが、その後の学習の基礎となり、現在では、英語の論文を読み書きしたり、外国人とコミュニケーションをとったりするのに役に立っている。中学・高校で学んだ数学は、内容的に現在の研究内容の基礎を形作っていると同時に、学習の過程で身につけた考え方の基本の部分、すなわち論理性、体系化、式などを使った一般化なども現在の業務の基礎を成している。

(情報通信業・ソフトウェア 40歳代 男性)

●英語・数学など理数系の基礎知識は中学時代に吸収したものが科学的理解の基礎となっていると実感する。  
(研究機関 40歳代 女性)

●具体的にどの科目というのではなく、忍耐強く物事を行い、処理していく過程が役立っている。  
(医療・福祉 50歳代 男性)

## 2. 応用研究／先行開発

●中高で学んだ数学や物理の基礎は開発、設計をするときのベースになっています。また、仕事に必要な学術書を読む際にも役立っていると思います。  
(輸送機械製造業 20歳代 男性)

●社会で最も重要な能力は、コミュニケーション能力と文章能力であると思っている。作文や小論

文の授業が、資料作成や校閲で役に立っている。ロングホームルームや行事がコミュニケーション能力を養う上で役に立ったと感じている。

(化学 30歳代 男性)

●化学の基礎など、簡単だが重要な部分は役立っている。応用は会社に入ってからなんとでもなっているので、基礎力の差が要領などに繋がっていると思う。  
(化学 30歳代 女性)

●基礎的な生物、化学の知識があることにより、食品の取り扱い、配合、微生物管理などに抵抗なく接することができる。(食品製造業 30歳代 女性)

●基礎理論や物事の考え方を学べたことは今も役立っている。データ解析などは高校数学レベルの数式を実際に使って解析・推定しているので、予想以上に役に立っている。  
(化学 30歳代 女性)

## 3. 設計

●現在の仕事では物理学、数学を使用することが多い。特に、流体力学、電気・電子工学、数学(微積分)の技術的知識が必要であり、中学・高校で学んだ知識を今でも使用している。

(輸送機械製造業 30歳代 男性)

●設計という仕事で、数学や物理の基礎知識は必ず必要で、それなしでは仕事が出来ない。

(輸送機械製造業 40歳代 男性)

●長さや距離を割り出すための三角関数や、複雑な面積を割り出すための積分などは仕事でも使います。  
(建設業 30歳代 男性)

●物理や幾何数学など高校で学んだことで十分計算出来ることが多い。

(一般機械・精密機器・その他機械製造業 20歳代 男性)

●部活動などで得た協調性や努力することの大切さ。  
(電気情報通信機器製造業 40歳代 男性)

## 4. 製造

●数学的な考え方・因数分解・方程式・微積分・三角関数・化学式・電気式・質量保存則・慣性の法則など、きりがありません。

(その他製造業(染色加工業) 30歳代 男性)

●化学式を覚えたことは現在の仕事に生きています。また、最後までやり遂げることも役立っていると思います。

(一般機械・精密機器・その他機械製造業 20歳代 男性)

●出版、印刷に携わっていると、専門的なものから雑学、一般教養まで、幅広い知識が必要とされる。その基礎を中学、高校で身につけたと思う。

(出版・印刷業 30歳代 男性)

## 5. 生産技術

●化学や物理の基本が実験を行う上で役立っている。

(食品製造業 40歳代 男性)

●数学や物理を理解していることが、設計や解析等をおこなう上で役に立っている。

(一般機械・精密機器・その他機械製造業 30歳代 男性)

●日本史や世界史は海外での親交などで役に立っている。また、基本物理や化学の知識も、高校の範囲内で十分役立っているものがある。

(金属・鉄鋼製造業 40歳代 男性)

## 6. 品質保証・評価

●特に理科(化学)。化学メーカーで評価の仕事をしているので、濃度計算・中和滴定などは基本中の基本です。

(化学 20歳代 女性)

●高校で英語を頑張った。英文のドキュメントの読解に役立っている。

(情報通信業・ソフトウェア 40歳代 男性)

●中学高校で理科は実験が多く、レポートを沢山書かされた。現象を捉える力や、事象を表現する力の基礎を養うことができ、そのことが現在でも役に立っている。

(化学 20歳代 女性)

## 7. セールスエンジニア・技術営業

●機械設計において、高校での物理、数学で学んだことの大半は使える。

(金属・鉄鋼製造業 40歳代 男性)

●部活動などでのチームワークや上下関係が実社会でも役に立っている。

(情報通信業・ソフトウェア 30歳代 男性)

## 8. システムエンジニア(SE)

●数I、IIなどはエンジニアにとっては必須。

(輸送機械製造業 30歳代 男性)

●基礎的な数学・物理知識がベースとなって仕様設計や開発業務に役立っている。また、英語は、海外との遣り取りや情報・文献収集に必須なため、十分に役立っていると思う。

(電気情報通信機器製造業 30歳代 男性)

●海外のドキュメントを参照する機会が多いので、英語が役立っている。また、統計学なども今現在、統計資料を作成する際に役立っていると思う。(情報通信業・ソフトウェア 30歳代 男性)

●国語(現代文)の授業で文章をつづる能力を高めていたことが、仕事で様々な文章を作成する際、役に立っている。

(情報通信業・ソフトウェア 40歳代 女性)

●論理的な考え方、簡単な英語力、国語力が、IT開発作業あるいはプロジェクトの遂行業務で役立つ。(情報通信業・ソフトウェア 40歳代 男性)

## 9. プロジェクトマネージャー

●基本的な読み書きはもちろん、ある程度の理数的センスや物事の常識を身につけたことで、どんな顧客と接するときにも恥ずかしくない対応ができる。

(輸送機械製造業 40歳代 男性)

●学業というよりは集団生活をしていく中での、規律・規範、先輩に対する関係などがとても今の社会人生活をする上で役に立っていると思います。

(情報通信業・ソフトウェア 30歳代 男性)



## 10. 管理 (的職種)

●国語はパンフレット作成時の文章力として役立っているし、数学の計算能力は寸法 (ミリ→寸) 変換に、地学・物理は耐震設計に役立っていると思う。  
(建設業 40歳代 男性)

●社会科を通じて社会の仕組みの大枠を理解することができたと思う。  
(一般機械・精密機器・その他機械製造業 40歳代 男性)

●中学・高校での社会科 (歴史・地理) の授業が、社会人としての基礎知識になって非常に役立っている。  
(その他サービス業 (総合ビル管理) 60歳以上 男性)

●中学や高校における友人との人間関係において学んだ精神的な財産が、社会に出てからの(特に上に立つものとしての)人間関係に大いに役立ったと感じている。  
(情報通信業・ソフトウェア 60歳以上 男性)

## 11. 企画・コンサルティング・調査

●外資系に勤めているので英語は高校で身につけたことが役に立つ。特に文法はいまだに高校時代の参考書を手放せない。化学構造等を見る機会があるが、構造式の理解は高校の知識がものをいう。コンピュータを使うとき関数を書くが、行列の概念が必要になるときがあり、高校時代の知識が役に立っている。  
(化学 40歳代 男性)

●ものの考え方。歴史観。特に公民や日本史など社会系科目によるところが大きい。  
(医薬品製造業 30歳代 男性)

●礼法や音楽・文学作品といった一般教養がとても役に立っている。専門知識より、一般教養が社会に出てから活きている。  
(その他 (Webデザイン) 20歳代 女性)

## 12. 商品・製品開発、マーケティング

●語学力、歴史、国語、理科系教科は一般常識として、数学はデータベース分析等で数字を取り扱う際に基礎となる、また論理的思考の構築に役

立っていると思う。

(その他製造業 (雑貨・インテリア) 30歳代 女性)

●語学および国語能力については、現在の仕事に生かされていると思います (主に企画書の作成や日常生活での会話などにおいて)。  
(その他サービス業 (娯楽施設) 30歳代 女性)

## 13. 生産管理

●数学は、難しい形の面積計算や勾配線の出し方等で役に立っていると感じており、自然現象が引き起こすトラブル (結露などの温熱環境等) の理解において、理科系科目が役に立っていると思います。  
(建設業 30歳代 男性)

●計算式の応用、円周率や関数計算は現在の仕事で使用。  
(化学 40歳代 男性)

## 14. 事務 (的職種)

●国語力。仕事で、文章を読むことや作成することが多く、さらに専門分野としての特殊な表現方法や文章の構成を身につけなければならなかった。そのため、中学・高校で学んだ基礎的な文法や、単語・語句の知識が役立っていると感じる。  
(法律事務所 30歳代 女性)

●翻訳なので英語は勿論だが、技術系の翻訳なので物理・化学なども関係したり、数式が出てきたりもする。言葉の意味の理解では国語も大切だったと思う。地理の知識もあるのとないのでは理解が全然変わってくる。  
(人材サービス業 30歳代 男性)

●英語をよく使う仕事であるため、中高で学んだ英語の基礎が役に立っている。  
(建設業 30歳代 男性)

●数学で学んだ論理的思考は、ビジネスで絶対必要なものだと感じる。日本史や世界史で学んだことが、外国人を含め、いろいろな人とのつながりで、役立っている。  
(医療・福祉 40歳代 男性)

●数学をしっかり学んだのは高校まででした。しかし、仕事では数字にかかわることはたくさん出

てきます。高校時代までの数学に対する基礎学力が今に生きていと強く思います。

(情報通信業・ソフトウェア 20歳代 男性)

## 15. 営業・販売 (的職種)

●数学が見積書の作成、技術仕様書の理解に役立っている。また、地理や歴史が外国を理解する一助になっている。(商社・卸・小売業 50歳代 男性)

●書類や提案書作成の際の基本的な文章力。顧客と会話する際の基本的な常識。(言葉使いや歴史観など) (情報通信業・ソフトウェア 20歳代 女性)

●数学的に仮説を立てて物事を考える力が、クライアントの課題解決への提案につながっている。(情報サービス業 30歳代 男性)

●学校生活としては部活で学んだ上下関係。学業としては中国人や韓国人と仕事のやりとりをすることがあるので簡単な英語。(商社・卸・小売業 20歳代 女性)

●体育会の部活だったため上下関係や口の聞き方や礼儀などは非常に厳しかったが、その当時身についたものが今の顧客との対応時などで自然と行うことができている。また、仲間と1つの物事をやりとげるためのチームワークなども身につけているため、部下の指導などもうまくできていると思う。(人材サービス業 30歳代 男性)

## 16. サービス (的職種)

●家庭科で学んだ事(栄養面や家事援助)や部活動(マネージャー)で学んだ忍耐などが特に役立っている。(医療・福祉 20歳代 女性)

●外国のお客様がこられても、片言の英語でなんとか意思の疎通が出来るときもあるから。(飲食業 40歳代 女性)

●学んだ内容よりも学ぶこと、集中すること、理解すること、ノート(資料)を作成すること、といったことがしっかり身についた。(その他サービス業(宝石鑑定) 40歳代 女性)

●人と会話するときに、必要最低限の知識とか教養とかを授業で得たことが役立っていると思う。クラブ活動で得たものが、人間関係やコミュニケーションに役立っている。

(医療・福祉 30歳代 男性)

## 17. 医師・薬剤師・看護師等保健医療従事者

●医薬品の濃度計算(溶質と溶媒)、含有量の力価換算などのスキルは、中学・高校で学んだものである。(医療・福祉 40歳代 男性)

●高齢者と接することが多く、国語などの知識は会話をしていく中で必要だと感じる。(医療・福祉 30歳代 女性)

●中学や高校では、上下関係や規律等の基本的な部分を学んだと思います。この社会人としての基礎となる部分が、上司や同僚や部下等と仕事をしていく上で役に立っていると思います。(医療・福祉 20歳代 女性)

## 18. 教員

●中学校のときに理想とする先生にめぐり合えたことで、より具体的に「なりたい像」が見つかったので、教員になりたいという夢に向かってがんばれた。学校での学習環境や教育環境、友達とのつきあいが今の仕事の参考体験にもなっている。(教育 20歳代 女性)

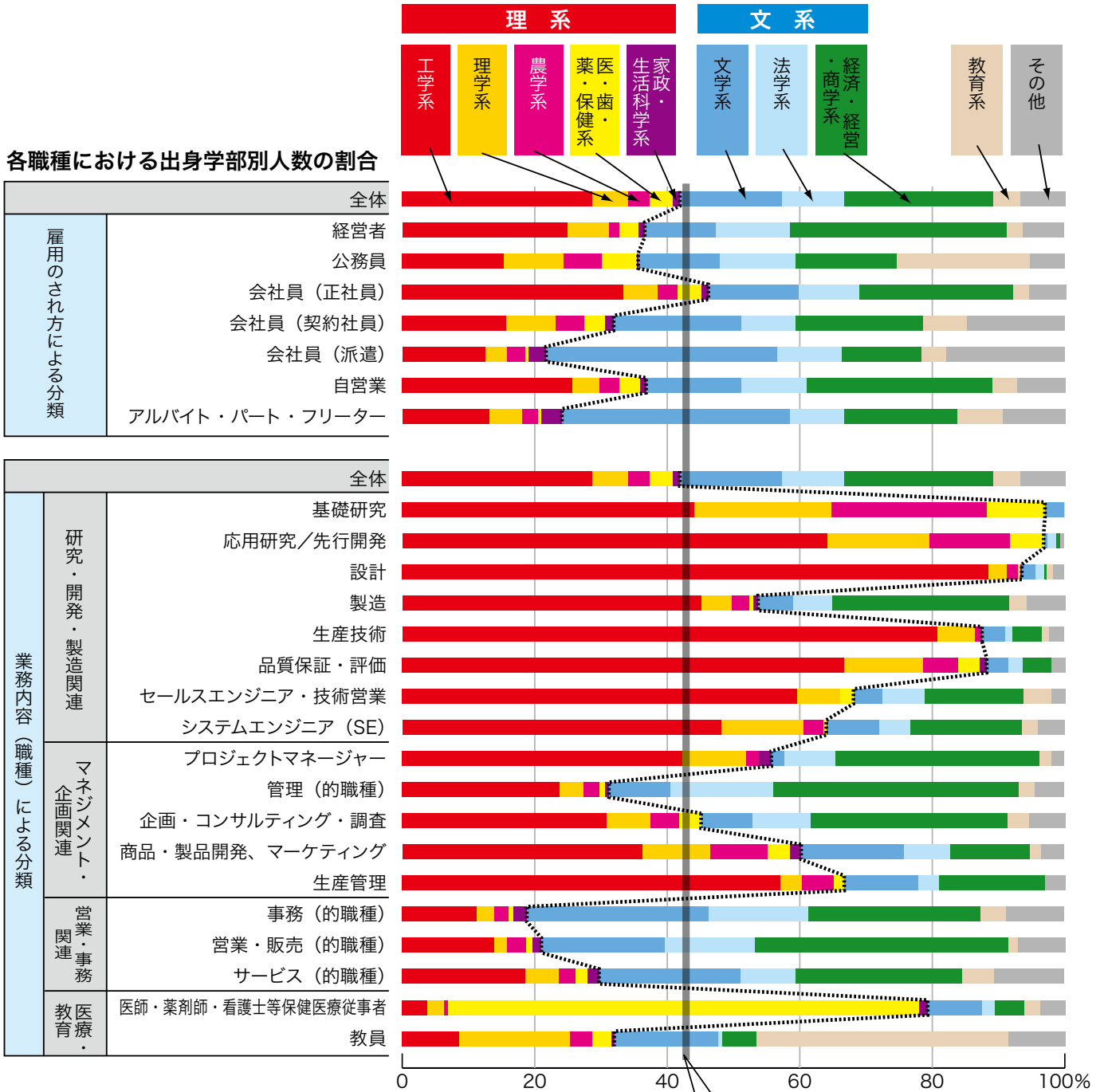
●教師であるので、中高生時代に習ったことがそのまま、現在の教授内容になっていることはいうまでも無い。それ以上に、1つ1つの学業や行事・部活での体験、特に苦労したことや悩んだことは、子どもたちの理解につながり、教師として人生の先輩として話をしていくうえで重要な経験です。これは教師に限らず、親としても同じだとは思っています。(教育 30歳代 男性)

●今の自分の仕事は世界中の人を対象としているので、英語、社会科(日本史、地理、歴史..)などを学んだことは非常に役立っている。(教育 50歳代 女性)

# 1-3

## 大学では何を学んできましたか (職種別にみた出身学部別人数)

中学卒業後の学びや進路を考える活動の際に、仕事の内容(「**やりがい・みちのりBOOK**」p58-59「**業種・職種案内**」)、大学での専門分野(同 p60-62「**大学・専門学校は仕事の入口**」)の紹介と合わせてご活用ください。



・実線は全体の理系文系の区分ライン  
 ・点線は、雇用のされ方・職種分類における理系文系の区分ライン  
 ※各分類で、理系文系の区分ラインが全体の理系文系の区分ラインより、右にある場合は理系学部出身者が多く、左にある場合は文系出身者が多い。

- ・雇用のされ方で見ると、会社員(正社員)は理系が、契約社員、派遣は文系が多いことがわかります。
- ・業務内容(職種)別で見ると、研究・開発・製造関連は理系が、営業・事務関連は文系が多いことがわかります。